

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2021 年 1 月 21 日開催分)

2021 年 1 月 21 日(木) 11:00~13:00

開催場所： オンライン開催

委員の出席： 番組審議員 6 名 (レポート審議含む)

WOWOW プラス 5 名

出席者

[審議員] 青木真弥、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、
湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 郡司誠致、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、伊藤里沙(記)

議題： (1) 2020 年 10 月~12 月の歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) 歌謡ポップスチャンネルの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2020 年 10 月~12 月における歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] MUSIC JUNCTION

#11 (A 面) 日本のバンドブーム 1985-1990

<番組概要>

MC 飯尾和樹(ずん)とコムアイ(水曜日のカンパネラ)がお送りするトークバラエティ!日本の音楽史に影響を与えたアーティストをピックアップ。多彩なゲストを招き、さまざまな角度でそのアーティストの魅力や知られざる姿を熱く語りあいながら、分岐点を探る。

#11 (A 面)では、数多くのバンドがブームを牽引した 1985 年~1990 年をピックアップ。アマチュアバンドの勝ち抜き戦の音楽番組やバンドをメインとした音楽雑誌が刊行される中で、様々な形態のバンドが生まれ、彼らが音楽業界を引っ張っていく存在になっていった。

ゲストにデーモン閣下とベッド・イン、解説者に山崎洋一郎(ロッキング・オン・ジャパン編集長)を迎え、この時代を席捲したバンドの事件簿など激動の 5 年間を紹介する。

審議内容： ■審議員意見

- ・番組内で話題に出た「イカ天（平成名物TV 三宅裕司のいかすバンド天国）」については、全く知らない若い世代の視聴者には伝わらなかったのではないかと。一瞬でも映像を出して紹介した方が、より視聴者の興味も引けて良かったと思う。
- ・雑談的なエピソードもテロップやナレーションでフォローすることにより緩急がついていて、編集の妙が感じられた。「イカ天」の映像がないことも、予め出演者に伝えてトーク内で説明してもらうなど、何らかのフォローがあっても良かったのではないかと。
- ・各出演者の年代、肩書、ジャンルなど、キャスティングのバランスが取れていて良かったと思う。ゲストのデーモン閣下のトークには安心感があり、MCの飯尾和樹氏（ずん）も味が出ていた。
- ・「音楽」と「時代」は密接に結びつくことから、ターゲットの世代ではない視聴者にその時代の音楽を想起させることは難しいと思うが、デーモン閣下のトークには世代を超えて話題を繋げる上手さがあり、話術が光っていた。
- ・「音楽」と「時代」を紐解くなら、せっかく解説者として山崎洋一郎氏（ロッキング・オン・ジャパン編集長）もおり歌謡ポップスチャンネルで放送するので、「なぜ」バンドブームが起きたのかという背景の部分をもっと詳しく掘り下げて、音楽好きを刺激するような教養番組にしても良かったのではないかと。
- ・様々な年代、それぞれの立場のキャスティングの組み合わせは、幅広い視聴者を獲得する狙いとして良かったと思う。番組自体も面白いが、今後はトークバラエティにしても教養番組にしても、作り手側の狙いや熱量をもっと見せても良いのかもしれない。

連絡事項： 次回番組審議会は、2021年4月15日（木）11：00開催予定。

以上